

## 当社投資信託の基準価額の下落について

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社の設定する投資信託である下記ファンドにおきまして、基準価額が前営業日比5%超下落いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 基準価額が前営業日比5%超下落した投資信託

投資信託の名称	基準価額		変動幅	騰落率
	2020/3/10	2020/3/9		
新生・UTIインドファンド	17,098円	18,405円	-1,307円	-7.1%
新生・UTIインドインフラ関連株式ファンド	5,898円	6,333円	-435円	-6.9%
新生・フラトンVPICファンド	8,863円	9,600円	-737円	-7.7%
米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式コース	4,874円	5,463円	-589円	-10.8%
米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式&通貨コース	1,531円	1,771円	-240円	-13.6%
アメリカン・ドリーム・ファンド	9,116円	9,773円	-657円	-6.7%

### 2. 基準価額の下落要因

新型コロナウイルスの感染拡大による先行き不透明感に加え、原油価格の急落を受け、3月9日の株式市場が世界的に下落したほか、為替市場では、米ドルなど他国の通貨に対して日本円が上昇したことなどにより、当社が運用する投資信託の基準価額は5%超の下落となりました。

#### 【ご参考】市場環境

##### 株式市場

株価指数		2020/3/9	2020/3/6	騰落率
インド	S&P BSE SENSEX指数	35,634.95	37,576.62	-5.2%
	S&P BSE100種指数	10,550.18	11,098.96	-4.9%
パキスタン	カラチKSE100指数	37,058.95	38,219.67	-3.0%
ベトナム	ベトナムVN指数	835.49	891.44	-6.3%
中国	上海A株指数	3,084.33	3,179.96	-3.0%
香港	ハンセン指数	25,040.46	26,146.67	-4.2%
米国	S&P500指数	2,746.56	2,972.37	-7.6%
	Russell 2000指数	1,313.44	1,449.22	-9.4%

##### 為替市場（対日本円レート）

	2020/3/9	2020/3/6	騰落率
インド・ルピー	1.38	1.43	-3.5%
パキスタン・ルピー	0.65	0.68	-4.4%
ベトナム・ドン	44.11	45.41	-2.9%
中国元	14.74	15.20	-3.0%
香港ドル	13.17	13.57	-2.9%
米ドル	102.36	105.39	-2.9%

※ 3月10日の米ドル・レート(東京市場)は103.28円/米ドルとなっています。

## 【投資信託に関わるリスクについて】

投資信託は一般的に、国内外の株式や公社債など値動きのある有価証券へ投資します。有価証券は市場環境、有価証券の発行会社の業績、金利の変動等により価格が変動するため、投資信託の基準価額も変動し、損失を被ることがあります。また、外貨建ての資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。そのため、投資信託は元本が保証されているものではありません。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これらの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容が異なりますので、ご投資に当たっては各投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 【投資信託にかかる費用について】(消費税率が10%の場合)(2020年3月現在)

購入時に直接ご負担頂く費用: 購入時手数料 上限3.85%(税込)

換金時に直接ご負担頂く費用: 信託財産留保額 上限2.7%  
(一部の投資信託においては1万口当たり300円の場合があります)

投資信託の保有期間中に間接的にご負担頂く費用: 運用管理費用(信託報酬) 上限 2.585%(税込)

その他費用: 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、信託事務等に要する諸費用、などファンドの信託財産を通じて間接的にご負担いただきます。間接的な費用のご負担額に関しましては、ファンドによって異なりますので、その料率、上限額等を具体的に示すことができません。

当該手数料等の合計額につきましては、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。**詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)などでご確認ください。**

### <ご注意>

上記に記載していますリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、新生インベストメント・マネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しています。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

### <本資料に関してご留意頂きたい事項>

・当資料は、新生インベストメント・マネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

・本資料中のグラフ、数値等は過去のデータであり、将来の市場環境に係る動向等を保証するものではありません。

・本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

・本資料は信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性等を保証するものではありません。

・投資信託は値動きのある資産(外貨建て資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。